

こんな正月はいやだ トップテン に入りそうな過ごし方をしてしまった。寝落ちてお風呂に入っている。そろそろ勉強しなきゃ駄目だし、明日で休みは終わりだし もうなにもわからない。今年は絶対に年末年始の予定を詰めない。

いつか海辺で ささやかな暮らしを と遺言みたいなメモが残ってた。どういう心情で書いたのかまったく覚えてないし、そんな現実が未来に訪れるとも思えない が、今年の目標を明るく過ごす にしようか…迷っているけど、多分そうなるので、夢は積極的に見ていきたい。

移動中 MIU を妹と見てた。どの話もつよいつらさを含んでいて、だからこそ得られるものもたっぷり、この良さについて低い語彙力で説明する気はさらさらないので、全人類に MIU を見てほしい。

青池透子の回……。最後くらい自分の全部を許して幸福の景色の中にいたいよ と思ってしまふ。「最後にひとつだけ」。そういうほんの少しの希望で生きていくには十分だろうな。はやく見つけなきゃな、と、思っています。

無料 10 連も有償もずーっと逢坂さんの率が高く、今年もお世話になります とにこにこしている。ガチャ運は 2021 できれいに清算されちゃったみたいで、ちょっとだけほっとしている。自引きは命を保つ運まで削られてる気がしてひやひやする。

今年もよろしくお願いします の現実味が薄い。年を越した感じが去年までと比べてぐっと低い。入ったファミレスの店員さんがすごく声を張っててすごいなあと思った。

カラオケでバイトしてた時は正月からこんなところに来るなんて暇なのかと思ってたけど、ああいう人たちは正月しか行く時間がないっていうのが今は若干理解できる。三が日に来るお客さんは態度は悪いが気前が良くて、店員もそこそこ浮かれていますので、正月なりの空気があってよかった。大体呼び出しを食らって行っていたので、行くだけでめっちゃくちゃお礼を言われ、それもよかった。

どうしてあんなに働き倒せたのかいまはまるでわからない。体力が欲しい。休みが欲しいとずっと思っていたが、休みがある今の方がなんだかぐったりしている。連続 6 時間の睡眠とたくさんの野菜がいまは欲しい。

楽天主義は意思に基づく らしいので、心に刻んできつと今年こそ明るく生きる。

210103

午前中は去年さぼったツケを払うために淡々と勉強していた。問題集やっと終わった。よかった。その業種向いてるよと占い師に背中を押されたので俄然やる気になっている。わたしはこういうところがほんとうに素直でかわいい。後半は完全に そういおをよみたいよっの気分になってしまったが。勉強、一度も真面目にやったことないから多分続いてるんだろうな。

やすやすと買えない値段のイヤホンを、今年に入って既に 2 回紛失しかけている。まだ年明けてみっかめですね？

書いた字を見返してたら去年めちゃくちゃ書いてて驚いた。書き終わった時点で記憶からなくなる（というかなくすために書いてる みたいな感じ）ので。単純に暇だったん？ となったが断じて暇ではなかった。はずなんだけどな。

たしか上げられるギリギリのラインのやつも全部サイトにぶちまけてるはずなんだよな。消したいけどサイトだともはやちまちま消すのも手間なので……。全部消すか全部残すかのどっちかだ……。身も蓋もないが誰も読まないでほしい。ただただ恥ずかしい。

うそだよ、あんな辺鄙な場所にわざわざきてくれるひとがいるとしたらうれしくてたまらねっておもってます。ありがとうございます……。

カフェめちゃくちゃたのしいな。前と違ってメンタルハードコースではなかったのが純粹にずっと楽しかった。お互いの推しの引き合いができてハッピーになった。VARIANT いっしょにみよね〜って誘ってくれたので非常にたのしみ。2 月まで生き延びるぞ になれた。

年越してから 10 日ぐらい経ってる感じある。休み中はずっとささやかなハピネスが続いてくれてよかった。日記をつけたので多少は記憶も失わずに済む。明日からいつも通りの低空飛行に戻ることにすこしだけほっとしている。耐えられなくなるのがこわいんだろう。つぎのおやすみをたのしみに、またがんばります。がんばろうね。

例によって無事に名古屋に飛べるのかなかなか怪しいラインになってきた。ちゃんと降り立てたら褒めてほしい。レベルが低い……。

過不足のない睡眠はうれしい。深夜 2 時にぱっと目が覚めてお風呂を済ませた。

こういう日は二度寝するのがもっとも幸福なのに、あと 30 分で出勤の状態なので起きているしかない。6 時半。

年末年始のわちゃわちゃスケジュールのおかげか、あまり駄々をこねずに地下鉄にひとりで乗れるようになった。出勤のときに乗るのもそこそこ平気になった。毎日となると減入るだろうけど、月に数回ならきっと大丈夫だろう。

年末が好きだけで冬が好きだったわけじゃなかったのかもしれない。

ただの謙遜だとしても、自己を卑下するひとの言葉を聞いているとこちらまでぐったりしてしまう。しかし、これはかなりわたしの都合なので、謙遜を処世術にしているひとにはなんとも言えない。けど、そんな自分のことボロクソに言わなくても……とよく思う。どんなひとにも眩しく見えるので、否定をしないでほしい。

努力は自分を好きになる手段か、と腑に落ちた瞬間が先日あった。

高校の時の数学の授業中、公式の構造説明のときに、黒板いっぱいにならぬ式を並べてつらつらと授業の半分ぐらいの時間をかけて説明したあとに「まあこんなことはどうでもいいんですけどね」って全部消す先生がいた。あれが高校で受けた体験の中で、もっともの学びらしい学びだったのかもしれない。

昔好きだったアイドルの曲を聴いている。大量の時間と思考、ちいさき人間が持ちうる限りのすべてを費やしたものに触れていると、なんともいえず、大きくてあたたかいきもちに沈んでく心地がする。

サブスクで音楽を聴いていると、いまのひとたちはこんなにたくさんのもののなかからどうやって大事なひとつを見つけてのめり込んでいくのか わからなくて不思議な気持ちになる。そんなものがなくなったらみんな生きていくことができるんだろう。わたしが 2022 年を小学生で過ごしていたとしたらわたしはわたしじゃなくなってたんだろう。だからどうって言うわけではなく、それだけのことです。

眠くてなにを書こうとしてるのかよくわからない。もっともっと頑丈になったところで、虚しくなってくばっかりなんだろうか。冬の朝日は澄んだ炎みたいでとても綺麗だった。

あまり覚えてないがここしばらくかなり心が終わってた気がする。体が完全にエネルギー切れを起こすなどしていた。

眠れない夜にサンドウィッチマンの漫才を聴くことを覚えた。睡眠用メドレーを適当に流してるので、お客さんが入ってるのも多いが、ラジオの深夜っぽい雰囲気伊達さんのボケに吹き出してる富澤さんの音声がかかなりここにやさしくてお気に入りになってしまった。

あとここ最近はおっぱらこの音にお世話になっている

([https://www.instagram.com/p/CQToNhJAKII/?utm\\_medium=copy\\_link](https://www.instagram.com/p/CQToNhJAKII/?utm_medium=copy_link)) 全曲ループで聴きながら寝落ちている。ありがたい……。

電子音が好きなんだと思う。歌詞なしはオルゴール系も聞かないこともないけどこっちのほうが落ち着く。ボカロも齧ってたからそのせいなんかな。郷里には弱い。

今まではずっと、心がよわい代わりに体が頑丈にできてるんだ、と解釈してたが、そうでもなかったらしい。健康を保つための努力が不可欠な状態になっている。わたしはどうやらかなりやわな作りをしていて、はやく上手く乗りこなせるようにならないといけない。

職場の環境上 朝の5時に出勤もどきみたいなイベントが毎日あり、その場に向かうまで自転車で30分かかるので原則エブリデイ4時起きみたいなライフ…をしていたし、している。相当頑張らない限り睡眠時間が6時間を常に切るので、相当頑張ら続けられないといけない。行かなくてもまったく罰則はないが、そういう問題ではないので、わたしははやく不安を紛らせて寝た方がいい。

定時で退勤させてくれるのが本当に助かる。が、最近は若干の残業もある。週6だけどもう6日目なんてただいだけみたいな状態だし、なんだかもういろんなことがただただどうでもいい。有休は多分抜歯で使い果たしている。勤怠管理がガバガバなのでよくわからない。記録上では週5 8時間しか勤務してないことになっているらしい。もうどうでもいいよね、人間らしい生活してるし、ここから先はぜんぶ余生みたいなもんだし。

仕事が終わったあとにこそそそと勉強をしている。仕事を頭から追い出す作業みたいなものなので本当は偉くもすごくもなんともないが、表向きには偉くてすごいと信じられるのも勉強のいい面なので甘んじて自分を褒めるし素直に褒められている。

帰りのバスの中では寝たり本を読んだり窓を見たり Twitter をしたり、それから帰った後にネタを組んで余裕があれば寝る前に下書きをしたりする。こんな環境で趣味にいそしむなんて私利私欲すごいなはやく寝ろよなと思ったりはするが、もうやってないとやってられない。I can do it の権利ぐらいいは捨てずにいたい。

ストレスが溜まるとろくなことにならないので、極度の空腹と睡眠不足には気を付けた方がいい。病院がきれいなのにちゃんといってとてもえらい。薬は高いが効いているのでめげずに飲む。今年はちゃんと暖かくして寝てるおかげで風邪をひいてない。とても快適でうれしい。

iPad が明日届く。とってもとっても楽しみにしている。試験はもうすぐ終わるし、2 月は祝日が多くてうれしい。

ひとり暮らしをする用に貯蓄口をひとつふやした。算数ができないのでどういう仕組みかは分からないが、iPad を買っても生活はやっていけるらしく、よかった。

幸福が約束された未来を信じている時間がいちばんしあわせであることを知っている。わたしははやくひとり暮らしをしたくて、今はそれが生き延びるのに必要な全希望のなかでかなりのウェイトを占めている。

自分のタフさを確認したくて文字に起こした。これより頑張ってる人も星の数ほどいる、自分が恵まれてるのも運がいいのもわかってるけど、それでも毎日頑張ってたてこの世の人は全員すごいしえらい。おしまい。おやすみなさい。いい夢をみます。

最近はこたつの切り忘れが減ってとてもえらい。今年に入ってから手袋をふたつなくした。カイロに乗り換えたから拗ねたんだと思う。貼らないタイプのものが切れたので買いに行ったが間違えて貼るタイプのものを買ってしまっていた。呪いと思しか思えない。

そんな冬ももう終わる。昨日は分厚いコートを羽織らずに外を歩いた。刺々しいくらいに澄み切った匂いはすでにもういない。さわれない季節は記憶の中でどんどん綺麗になっていく。また冬を待ち遠しく思う1年が始まるのかと思うと少しさみしい。

クリスマスが最悪だった話をしたところ、来月理解のある友達と一緒にクリスマスパーティーを執り行うことになった。ありがたいね……。

占い師に幸福な関係の意味を説かれたり、とても趣味が悪いと性格診断にお叱りを受けたり。なのでもうそろそろ手の引き時なんだろうな。そう思えるくらいにはタイミングがいいので、このまま上手く波に乗れるといいんだが。

カレンダーをはがす音を久しぶりに聴いた気がする。なぜ行ってしまうのか、二月よ、ってこの一週間で何回も呼びかけた気がする。25～31 がひと月でいちばん好きな部分なのでかなり今月はかなしい。節分たのしかったなあ。

なぜ行ってしまうのか、友よ。スタァライトもっかいみたいよね。もっかいみたいものたくさんある。

ネヴァも最近強いね。本当にアプリになってしまわれるのですか？ あの最高濃度の地獄をそんなに手軽コンテンツにできてしまって大丈夫なんですか？

明日はちゃんとゴミ出しをする。コールスローの期限が切れている。ちゃんと成長できないことのほうがよっぽど怖い。春はもうすぐに。かわいい色のワンピースを買う。

色んなことを覚えてない。忘れてしまっていることがたくさんある気がする。月曜のお昼に、土曜の夕方なにをしてたか話そうとしてまったく思い出せなかったときはさすがにぞっとした。全然何もしてなかったわけじゃなかったのに余計に。いつから記憶が曖昧なのかそれも曖昧だけど、2月までは楽しい気持ちで過ごしてた気がする。し、気のせいだったのかもしれない。

字を書くことも忘れかけているので、しばらくはよそよそしくなるかもしれない。

以前のことは気が向いたら話そうと思うので、今は今のことを書こうと思う。

今日は部屋の片付けをした。枕元のスペースがすっきりして、たくさんの真っ白なノートをしまい直して、板タブは妹にあげた。絵を描く日々とは老後まで縁がないかもしれない。来世で極めたい。

先週 山へ登りに見知らぬ町へ出かけたときに、バス停で一緒になったおばあちゃんが話しかけてくれた。姿勢が綺麗なおばあちゃんだった。きれいな着物やお洋服を着るのに姿勢が悪いと服が死ぬから、と言っていた。これから曲がった背中に気付いてふと背筋を伸ばすたびに、このおばあちゃんのことを思い出すんだと思う。好きな服のために背筋を伸ばせるのは、清々しくてうれしい。

おばあちゃんは今年で88歳らしい。ここに住んでるわけじゃなくてこの近くの山に登りに来たんです、と伝えると えらいねえ と驚いていた。そんなことで褒められて泣きそうになっていた。

おくすり飲めたね、いいですね。ぶどう味おいしい。錠剤タイムをしばらくはたのしみにできそう。これから困ったことがあったときは幼児向けの対処を試してみることで色々乗りきっていきたいね。

日常の安定感が損なわれると、途端にどんなものも愛おしく美しく色を変えるものだって、味わうのは初めてじゃないけど、この状態はとにかく居心地が悪い。毎日のどこにも現実味がないまんまなのになにもかも淡々と続いてく。もう正直つかれているので、波に身を任せることにする。

母の作ったケーキで、穏やかに妹の誕生日を祝った。食卓に集まって団欒の中に身を置いていると、まったく知らない家庭に招かれて、馴染めないまま眺めてるような気分になる。でも、家を離れられることになってほっとして、最近はよく笑えるようになった気がする。お金を貯めきるまで髪を切らないことにした。元は成人式のために伸ばしていたけど、あまりにも楽しみじゃないので、モチベーションのためにゴールを変えた。邪魔で邪魔でたまらないので早くお金を貯める。

未来がぶれると途端にだめになる。おととしの10月のこともよく覚えてる。休み時間が終わる3分前の校庭、保健室の天井の穴、なにも解決しないまんまぜんぶ通り過ぎてったことも。

もう暑いよねえ。夏が来るにはまだはやいの。でも世界一かわいいワンピースを手に入れたのでなんとか。

暗いことばかりだなあ～。元気の皮が丈夫なのでぎりぎり色々持ち直してるところ。結構もう大丈夫だね。よかったね。

どん底のタイミングのときにぼりし～をエンリピする癖がついている。この曲がなかったら越えられなかった夜がいくつもある。

「悲しみが際立った今日だって幸運の introduction なんて思えなくていいから」本当にすごい歌詞だなんて思います。

去年の夏のことを思い出すとちょっとだけうれしい気持ちになる。今年のことどこかで思い出したときに、うれしい気持ちになれるような時間を過ごせたらいいなって思う。



雨が降っている。2日前くらいから今日は雨が降ることを知っていたのに結局傘を忘れてしまった。蒸し暑いけど風は冷たい。全部が灰色で雲が早くて、台風の日みたいだった。アイスクリームを買って帰った。

無事にネガティブから抜け出したっぽいので、抜け出せた原因を探ったら、飽きたから だった。もうどうしようもない。こんな調子じゃ明るく過ごすのにもすぐに飽きてまた元に戻る気がするし、今度こそは上手くいく気もする。

毎日に飽きたなあ、と朝からうずうず思っていて、すごく遠いところに旅に出るか、断崖絶壁からバンジーを飛ぶか、結婚して子供を産んでみるか、どれにしようか迷って、結局全部却下してまた字をこつこつ書くことに決めた。創作はすべての欲のはけ口になり得るくせにまったくお金がかからないのがすごい。

好き嫌いが激しすぎることで悩んでいたが、大量にインプットして好きなものも大量にみつけてやる という気概を持って臨もうと思う。

すきなひとの同人誌をひさしぶりに読んで、ころろが一瞬でたぶたぶに……。手に入れた経緯も含めて一生だいすき。感想は既に送り付けてるけど、2回送っちゃいけないルールなんてない（と信じたい）ので、また機会と勇気があればお伝えしたいな。

最近はずっと眠気が続いている。ちょっとしゃきっとすることにしたので、解決されればいいな。仕事はずっと忙しいが、明日は昼から晴れるらしい。

風が強かった。家に帰ってくるまでの記憶がない。ゆっくりお風呂に浸かって、早く寝ようとしている。やっと調子がいい感じがする、すごく久々な気がする。今月は体調も崩したりしていてなかなか辛かったけれど、桜もきれいで街はあたたかくていい四月だった。春を好きでいたいための強がりではない気がするが、強がってなんぼだ。

生きていく上でひたすらに見栄えを気にしていたし、今も気にしていないとは言えない。けれど、枷と呼べる物全てを手放した時、一体どこまで飛べるのか、どんな景色をみることができるのか知りたい気持ちの方がよっぽど強い。という格好のついた理由じゃなくて、器にはまっているポイントで見える世界にちょっと飽きてきたんだと思う。行動理由の九割が飽き由来のものだけど、もう才能だと思うので褒めて伸ばして仲良くしていきたい。

今の会社をクビになったって全く構わないし、家族に縁を切られても私は私を求めてくれるどこかを探して見つけて属すだろう。傷ついたってその傷で他の誰かを癒すだろう。生き抜いていくにはあまりにも弱いけれど、その分の強さもいつだって握りしめている。いつか人間になりたいと心底願うくらいには、私は人間のことが好きで愛しい。

珍しくポジティブなので、ネガティブな時用に励ましてみた。生き延びた方がかわいいよ。これだけは忘れないので平気。

見栄えを気にしなくなるということはこういうことで、これからどんどん色んなことが恐ろしくなくなるのかもしれない。でも自分の全部を曝け出したって来月からの給料が減るわけじゃないし、削られる名誉も特にない。突然自分が死んだ後に掘り出されるこんな文章が、誰かの手に渡ってどんな感情を引き起こしても、すでに死んでるのでやっぱりどうでもいい。自分につく傷に全く無頓着になってしまったのかもしれない。

だからじゃんじゃん場所を選ばず人生を記録していきたいなと思う。消すことなんていつでもいくらでもできるので、書けるときにたくさん書くことにする。

自動翻訳機とかに脳を繋いで一度全思考を出してみたいと常々願っていたけれど、この作業はそれに似ててすこし楽しい。字を書いてる時だけは書こうとしていることだけを考えていればいいから好きなのかもしれない。仕事には絶対にしないと決めている。

字が上手になりたい。勉強をしたい。

シルバニア、全然行けてなくてつらい。マステ絶対欲しい。まだあるかなあ。四種類あっていちばん好きなひとつにしようって決めてたけど、全種類欲しいに決まってるので全種類集めるね……。

自分のことなら 30m 弱で 1000 字かけちゃうんだあとと思うと滑稽でたまらん。直近の願望が速筆になりたいなので、しばらくはそこを目指していこうかな。小説もいっぱい書きたいねえ。一字でも多く書き残してから死にたい。

全く暗い意味じゃなく、この頃終わり方のことばかり考えている。農家をしたいなと思った。長生きなんて絶対したくなかったけど最近は人生 100 年上等じゃんって感じかな。50 で死

んでも全く悔いはない。調子がいい時は人間楽しめるんだけどなあ。ね。なるべく苦しまずに生活しようね。

経理、嫌いじゃないのに絶望的に向いてない業種ナンバーワン。とち狂って金融に就かなくてほんとうに良かった。お金のこともちろん嫌いじゃないので一歩間違えたら選んでたと思う。あぶないあぶない。

GWが始まるらしい。明るく元気に楽しい日々を過ごしたい。忘れないように日記をつけるつもり。これから習慣になっていくのかもしれない。今はすごくこの時間が楽しい。まああぶんそのうちやめるだろうけど。

どうあがいても自分から逃げられない感覚と、自分が自分であることが不思議な感覚がずっとある。交互に来る、が正しいかもしれない。調子が悪いと前者で、良いと後者。誰でもそうなんだろうか。

今は調子がいい。ので、自分が、ごく普通の法治国家に存在するごく普通の両親から、ごく普通に生まれて、順調に教育を終え、日々労働に励んでいる何の変哲もない若い女だということが全然……いや、わかるんだけど、まるで実感がない。「人間の生活はどうですか？ 楽しいですか？」って鳥とか魚とか草木とかにいきなり話しかけられても そうね、そこそこね、って普通に答えてしまいそうなくらいには、本物の自分が別にあるような気がしてしまう。

それか、次に目を覚ました時すべてが夢で、自分はまだ本当は3歳で、長い夢の記憶とともに人生がやっと始まるような、そんな妄想もずっと手放せない。

根拠の無い思考のスイッチ、入れたり切ったり出来たらいいのにね。普通、にずっとあこがれている。他の人がどんなことを考えて毎日をやりすごしてるのか心底興味がある。何も感じなくなってみたい、何も考えない時間を過ごしてみたい。世界がつまらないものじゃないということや、そういう定規すら持っていないって感覚はどんなだろう。正しい精神で見る世界はどんな色をしてるんだろう。

毎晩眠って目を覚ます度に自分の人生の中にある違う時代に飛べたらいいのに。そしたら飽きずに済むのに。どんな悩みも苦しみも悲しみもきっと愛していけるのに。老化への一方通行ってつまなくておもしろいルールだね。早く老人になってみたい。

浮世離れしたことをたらたら字に起こしてしまったのでバランスをとる。シルバニアのマスター、手に入れました。ポイフルかわいい〜〜…ひさしぶりに買った。いおりのリプトンも一緒に。

7くんのユニットラビチャ なんと初見(!?)やっとしたんですけどいやもう71〜〜!!! 絶対にな…

7くん今世紀最強の攻めくんだと思ってるんですが だって誰も勝てないでしょ？ ね？ 勝てないよね？ 1さんどうですか？

1、3 相手以外はたいてい右になっちゃう子でしょ。わたしがかわいがりたいだけでしょ。そうね〜。

なんでこんな話ここでしちゃったんだ。ああ〜。後に消そうね。いいGWになるかなあ。  
近々環境が変わるらしいので、どの景色ともこれでさよならかもしれない。別れは突然なんだね。以前地元を離れたときはちゃんと惜しみながらさようならを言えたからまだ心残りは少なかったけど、今回は後悔まみれになってしまいそうだな。

母から貰った手紙を、新幹線で読んで泣いたことを覚えてる。報われなかったものたちは、あそこでぜんぶ救われてしまったはずだった。自分の中を貫通していくどんな瞬間もまったくまともに見えるのに、まともならこんなことになってなかったでしょう？ っっていつでも足を掴まれる。仲良くしようよ。もうわたしはわたしをいじめる気なんてこれっぽっちもないのに。

明日は髪を染め直す。一気に切ってしまいたい気持ちでいっぱいだけど、お金を貯めるまではなんとか堪えたい。雨の日も好きになれるくらいのかわいい傘が欲しいので、しばらく探してみようと思う。

もう五月も終わってしまうのか、と驚いた。梅雨も夏も大嫌いなので参ってしまう。日記をさぼってたことにも気付かなかった。

無理やり頑張ろうとして上手くいなくて底を泳いでるうちにハイになってしまったひと月だった気がする。情緒の高低差ですっかりお疲れになってしまった。お疲れ様です。来月は勝負の六月だね。生き延びようね。

ここ最近とにかく様子がおかしくて気持ち悪い。調子が悪いてわけじゃないけれど、様子がおかしいっていうのがいちばんしっくりくる。穏やかに戻りたい。燃え尽きるまでは燃えようと思うけれど、心の調子と仕事の調子が反比例してる感じがあるので困る。お仕事はもう笑っちゃうくらいぼろぼろなので早くドロップアウトしたい。強制退場のボタンをいつまでも待ちわびている感じがある。

一年目だから許されてきたことが大体許されなくなってきた、これからどんどん許されなくなっていくんだろうなと察している。経理に携わっちゃ駄目なんだってば。事務についてるうちは一生ひとりで仕事できない。早く方向転換したい。でも完全に安定している収入源を失うのは、情けないけど本当にやっぱり怖い。ハードだね……。

一ヶ月に一回は財布を忘れる。先輩に「財布ある？ お金入ってる？」と確認されて笑ってしまったが笑い事ではない。あれれ小さい桁の小銭しか入ってないね全部でいくらなのかなこの会計できるのかな。生活用の口座にもお金入ってないねこのカード使えないね。ああ……。みたいなことが、しょっちゅう、本当にしょっちゅうある。お金を常に財布に、口座に入れておくということができない。できる人って何者なんだろうって思ってる。

＊

しれっと六月に入ってしまったね。すでに大山越えた感じある。どうなんだろう。

週休が二日になった。週休が二日ということは週に二日休みがあるということで、今日は休みだけど明日も休みという日が一週間に一日発生するということで、……なんだかもうよくわからない。疲れている。

変わり映えのない週末だった。週休が一日だとひとりで過ごしていても慌ただしくて休んだ気がしないが、二日もあると流石に時間を持て余してしまうことがわかった。人生においてまともな週休二日がある生活って普通に小学生ぶりなので、ちょっとよくわからないのは当然の話なのかもしれない。

いろんなことを考えていたはずなのに何一つ覚えていない。人々の営みをぼんやりと眺めていた。お父さんの真似をして新聞を読んでいた子供。ひとりで温泉の湯船に浸かっていたおばあちゃん。なかなか渡れずにいた道でスピードを落として止まってくれたドライバー。今日は曇りで、外は暑くて、でも冷房をかけるにはまだ寒い。夏はもうすぐそこで、でもその前に梅雨が来る。仕事を今すぐにでも辞めてしまいたくて、でも明日も私はバスに乗る。歳をとるにつれて逆接ばかりが増えていくんだな、と思う。いつだって順接でいたいのに。

今この瞬間を慈しんで生きていこうと決めた。迷ったらいつでも思い出したい。だから何回も口に出す。

おきもちがだめになったのですこし前までぽりし〜る〜ぶに嵌まっていた。

「悲しみが際立った今日だって幸運の Introduction なんと思えなくてもいいから」指針すぎる。

いつもありがとう。これからもよろしくね。またね。

ココロ、ハレ晴レ、day1 で散々泣き散らかしたから day2 はサビぐらいまでは全然ちゃんと見れたんだけど、センステ上のカメラに切り替わってももさんが真正面で歌ってくれるアングルになってからあっけなく崩れた。

ふたりの背中から客席を眺める画角、そのまんなか射す真っ白なスポットライトが本当に綺麗で、眩しくて、あまりにも現実味がなかった。

ライブでしか味わえない感情だったので満足している。どっちも行けてほんとうによかった。

金木犀と雨の匂いはどっちも淡くて切なくて好きだなあと思うなどした。職場の窓から見える窓が一日中真っ暗で、いつもなら間違いなく気落ちしてたけど、昨日だけは寄り添ってくれてみたいで好きだった。

金木犀が町の主導権を握る時期になると、今年もこの季節が！と嬉しくなっていた気がする。季節に鈍感なのは良くない。忘れないでいたかったのに、と空虚な感情になることが最近多い。傲慢なので本当はなにも失いたくはない。

人の体を借りてやるのが記録しかなくなってきた。毎日があっという間で、カレンダーももう残り 2 ページしかないことになんの感情も湧かないのがおそろしい。ちゃんと気持ちを殺さずにやっていきたい。

字の書き方を忘れるなんて息をするよりも簡単なので、どんな形でもちゃんと定期的に長文は打ちたいな。日記が手っ取り早いのであわよくば習慣にしたい。

でも、ライブの記憶もうまく言語化できないのがもどかしくてつらいので、こんなことなら毎日ちゃんと字を打っておくべきだったとは思う。

毎日の中で思い出したことをちょっとずつ書こうかなと考えている。

新幹線の中で見た海岸線と朝陽が綺麗で、天使のような朝だった。早朝に新幹線に乗ることがないので目を奪われてしまった。あんな景色の中で生きていきたいと思う。

昨日の朝はずるずると涙が止まらなくてびっくりしてしまった。自分の中でそういう切実な痛みを味わう技術が欠損してると思ったから、涙があふれるという現象をもう履修できないと諦めていた。自分の中にこんな瑞々しい執着があることに感動したりしていた。奇妙。恐怖や失敗を乗り越えて、それでも手に入れるべき願望から逃げてきた分の代償はおそらく負っているんだろうけど、自分では気づけないのがつくづくおそろしい。いつだって生々しくありたい。人生の生々しさを思い出すには痛みがもっとも手っ取り早くて、つらいけどやっぱり真理だなとも思ってしまう。

生前整理がマイブームになりつつある。昨日は若干部屋を片付けただけだったけど。死にたいとかそういうことじゃなくて、とにかくいつ死んでもいいようにしたい。というか生きていくことさえ自分には決定権がないんだから、死ぬタイミングぐらい自分で選ばせてよって思う。選べなくてもいいからせめて教えて。



死んだら海に骨を撒いてほしい。臓器は全部求めてるひとに届けてほしい。葬式は最低限でいい。私が死ぬことで誰も悲しんでほしくないので、できたら笑って見送ってほしい。諸々の話し合いがいつできるかわからないので、取り急ぎ至る所に意思を残していこうと思う。なにもやりたいことがない。お金も貯められない。何十年先のことなんて知らないので目の前を生きていくためだけにしがみつくしかないのかもしれない。オーロラを見てから死にたいから、なるべくはやく達成したい。

だんだんこの巨大な記憶とか感情ごとパンドラの匣に閉じ込められて開けられなくなっていくんだろうなあ。という予感がある。強いところが欲しかった。

例に漏れず湿度の高いオタクなので、さみしいねというでかい波にもあまり乗れずにいる。根が陰気なのでひとりでうじうじ淋しがっている。そういう切なさとかもまるごと楽しんだり愛したりすることも本当はできるけど、今はまだそのフェーズじゃない。

ココロ、ハレ晴レをシャッフルプレイリストに流されて いまは無理！ てスキップしたのに奇跡流されて、もういいよ……という気持ちになり、また泣いていた。涙さえ笑顔に変えられるかなあ。そういうさらっと芯の通ったしたたかさが大好き。t(w)o で見せてもらった景色もなんかぜんぶ夢みたいに輝かしくてあたたかくてたまらなかったな。これからのふたりを包むのがあんなにやさしいヴェールなら、オタクはもうなにも未練を残さずに成仏するしかない。

幸福な夢の方が悪夢に転じることが多い。私の脳は私に地獄を見せるのがとても上手いので、最高の幻覚をたらふく与えたのちに朝という現実でしばくのがいちばん効果的であることを知っている。持ち主に似て性格が悪い。

空き時間でメモを整理していた。家出するときに参考になるサイトと最低限の持ち物がしるされたファイルが出てきて、必死で絶望してたんだなと懐かしくなった。そんなにあの頃と離れた訳じゃないのに、不健康を懐かしく思う瞬間がある。こうして全部死んでいくんだなと思う。持ち物リストのいちばん上の行はぬいぐるみが並んでいた。

叶わない夢を見るのは首が折れそうになってつらい。とりあえずなるべく北のほうに移り住みたいなと考えている。こうも暑いとほんとうにやっていけない。夏以外の季節は夏のことを好きになれるけど、ここじゃ夏が長すぎてこのままじゃ亀裂が生まれてしまう。

ジョカフラの最初のフレーズを不意に聴くたび、目が覚める気持ちになる。「少しムリヤリ上を向いた」、一織さんに歌われると味の出る歌詞だな……と個人的に感じる。例えば三月さんとか、七瀬さんとか、比較的前進を前提に生きていそうなイメージがある子ではなく、一織さんなんだよな……。駄目だ、語れば語るほどずれます。わかってくれるひとがいたらちょっとうれしい。

Everyday so Marvelous！ を歌う一織さんもベリーキュートだな。最近は一織さんにフォーカスしてたけど、七瀬さんを見つめていると一織さんにも殴られる構図になってるからねアイドルリッシュセブンは……。

ももさんのワンオク聴いてて 愛のエール 地球の果てまで届けてくれるんか……と通勤中にありがたくなったりした。

追加公演が決まった夢を見た。チケットが取れなかった。なんかもう何がしたいんや。夢見せるなら最後まで見せろよと思う。何見せてもタダやねんから最前の景色とか見せんかい。持ち主に似て最高に天邪鬼で最悪。

至って平凡でラブリーな日々が続いている。特になんの心配事もない。金銭のための労働の意味がわからなくなりつつあるので、金がなくて死ぬ、みたいな状況を一回味わっておくべきなのかもしれない。そんな報復は嫌だ。

日々が再び退屈の兆しを示しつつあるので、字を書いて勉強をして体を動かして、じゃんじゃん暇を浪費していこうと思う。

アイドル、大体三年くらい生活を埋め尽くしてもらったらそのまますんなり契約満了しがちだったけど、百さんは粘着力強そうだし、まだ私の光で居続けてくれるのかな……と帰り道のバスの中でそわそわ期待していた。人間が人間に向ける愛の概念を植え付けるというよりは殴りつけるように、私に刻みつけていったのは間違いなく彼なので、こっちだってそりゃあまだいてくれるならいてほしいと願ってるよ。百さんの繊細で凶暴な愛をなるべく吸い尽くしたい。別れを告げるにはまだ早い。気がする。

禁酒している。ライブのおかげもあったけれど休肝期間が一週間を超え、本当に、奇跡……。成人後の一ヶ月を見てくれてたひとはわかってくれると思うけど飲酒量も度数もえげつなかったな。満を持して昨日飲酒したけど、普通に 3%で足の先がじくじくする感覚が生まれたので感動してしまった。アルコールパフォーマンスはこちら側も協力して上げていくべき。あと、目に見えて出費が減った。薬物課金よりかは確かに旅費とかに金銭を使いたいのうれしい。これからも波のあるアル中を極めていきたい。

どこの時期の百さんが好きかと問われれば、同棲時代か三部……としかめ面で答えるんだろう。どんな人生もスマイルの量が多いことに越したことはないのは大前提だが、私が惚れたのは彼の涙と矛盾と執着、そしてそれら全てを切り捨てるわけでもなくひとつ残らず背負った状態で立ち上がり輝き抜く強さだ。あの子のしたたかさをもっとも引き立たせるのはあの子の弱さである。

ハッピーエンドまでの過程において、どん底の部分をとことん愛してしまうせいでハッピーエンド自体にそこまで興味がない。そのせいで5部に対して永遠にもやついていた（んなこと人にあけすけに言えるわけがないので余計に）、けど、昨日の更新でそれもちょっとだけ晴れた。彼の強さを浴びるたび、彼の弱さを思い出す。

目を背けたくなるような、蓋をしたくなるような、そんな感情だって無意味じゃない。百さんが教えてくれたことのひとつだ。ハッピーエンドの伏線だと信じて、とことんまで向き合っていたい。

本物の自分に会いたい。最近はどうなもののでもとことん吐瀉している。字は便利ですね、記憶や感情を簡単に記録できるから。

執着がしたいことでずっと悩んでいる。釘付けにしていしてほしい。失う虚しさも忘れるくらいの毎日が欲しい。歪みを孕んでいるとしてもそんなことはどうでもいい。でも、そんな感情を知っているということはすでに味わっているということな気がする。過去を探したいな。

偶然のいたずらで恋人がいる状態になってしまっている。なってしまっている、と言いたくなるくらいにはそこそこ悲惨……なのかな。少なくとも私ヴィジョンではそんなにかわいいエブリデイにはなっていない。別にかわいいエブリデイがほしいわけでもないので問題ないが。

こういう赤裸々所感を述べてしまうのはさすがに躊躇う気持ちもないわけではない、けれど、本当に記録しないと何回でも忘れて同じ轍を踏みまくって人生を無駄にするなど、今思っているので、というか実際踏んでいるので、なるべくテキストに残していくし、せっかく言語化したからには人目に晒しておきたい。いつでも仲間を探している人種なので。同タイプの人間がいたら仲良くしてください。

言葉オンリーで好意を伝え合うフェーズなのは仕方ない、のかな。態度なんてその人間の解釈による、から、言葉が一番大事なんだろうか……。と遠い目をしながら向き合っている。向こうが冷めたら関係が続きようがないので早めにどうにかしたい。のとは別の時空で、本当に恋人がいる状態って面倒臭いというか向いていない。恋人自体が面倒臭いんじゃなく、この状態に対して言っている……。友達に腹の内を明かしたところ啞然とされてしまった。し、「前もおんなじこと言うてたで」とのことだったので、ああ~~~~無成長~~~~私が最も忌み嫌うパターン~~~~！！とジタバタしている。どうしましょうね。

胸の内にとどめていることが今まで多すぎたので、人生で一瞬ぐらい全部出す期間があっても怒られねーだろと思ってしまった。うーん……。しかしまあ一過性だと信じている。ここにいるみんな被害者なのでプチ切れていいし上手く避けてね。

過去の日記を読み返していると川と光と花の話しかしてなかった。それがだんだん時系列に合わせて感性が色褪せていく図を目の当たりにしてしまい、ああ……になるなどしていた。

「人生の目的は失うことでもある」が最近やけに腑に落ちる。桜春樹、かなり今の生活の指針になりつつある。手放したくないものを握り締めて、本当の自分自身だけと一緒にいられるように生きていきたい。

字から離れられない、大いに結構。腹は括ったのでどれだけ無様でもどんどんしがみついていこうと思う。なるべくたくさんの字を残す、というよりは、自分から切り離してから、心残りなく死にたい。

社会性の欠損も板についてきた今日この頃です。もう 12 日間社会から隔離されている。そんなに経ってしまった実感がないのが一番まずい。

孤独をひしひしと感じているのかと聞かれればそれはそうでもない。なんだかんだ毎晩色んな人とジカプの話や生活の話をしている。ニートだと一日の中で無駄な疲労を負うことが全くないので人の話を聞くゆとりがめっちゃくちゃあり、楽しい。

こんな生活もあと 5 日で終わるけど、いやあと 5 日もあるの？ キモすぎる……。人と接触しないせいで集中力と気力も低下している。この日記を書くまでもなかなか腰が重かった。結局仕事してる時とマインド自体は全く変わらないので、これなら働いていた方がまだマシだ。

こんなことをグダグダ喋るつもりはなかった。書きたかったことを書く。

11 月が終わってしまう。本当に終わってしまう前にテキストに向かえてよかった。残しておきたいものは山ほどあるのに、怠惰のせいで失うのは良くない。なるべく日記は習慣に入れたいなと思いつつも、今月はこれが初めて。忙しいわけでもないのに本当に良くない。年末は好きなので今年も積極的に記録していきたい。

妹の本棚に隠していた BL コミックを処分しようと思って引っ張り出して、一冊だけ読んでみた。ジャケ買いでしかない銀色長髪の神様と黒髪の天使の話だったけれど、高校生の私は私の性癖を見極めて当たりの BL を引く才能に長けすぎていた。好みじゃないものは処分していたっていうのもあるけれど、それにしてもニッチな好みを持つ私にちゃんとハマるやつをここまで取り揃えたのは敬服モンやな、と思うなどした。漫画は一冊も処分できなかった。

BL に愛の理想像を全振りしている自覚がある。かなりおぞましいことである。かけがえないふたり、唯一無二の愛、人間関係の理想郷。どれも自分からは縁遠いものなので。

異性愛は切実じゃなくてもできてしまう、という感覚が何となく拭えない。根っからの恋愛脳なので基準がバグっている側面も少なからずあるんだろうけれど、やっぱり生きていく上で恋人が欲しいというのは割と普遍的な欲求として世間でも認められている感情だし、そのベースがある上で人間が寄り添い合うことは比較的容易だなと、感じることは、まあある。相対的に同性愛が眩しい、というのは人の価値観によっちゃひどく不誠実に感じられるのだろうが、やっぱりそうしてしまうのは嘘ではないので、記録してみる。私自身どっちでも

構わんタイプ（恋愛する上で性別は考慮対象じゃない）ではある。置かれる状況に無頓着だし柔軟なので、偏見に抗うべき、の風潮は少し腰が引けてしまったりもする。後述する小説にも出てくる描写だったけれど、ラベリングからあぶれた人間の疎外感って、もう手に負えない感じがする。ので。自分がどうかは言えないので、あくまで外側からの想像として。これに関しては N/A という小説で割と掘り下げられていた。思春期特有、という感想も多く見かけたし同意もするけれど、令和の思春期、なかなか難しいんじゃないん……と思ったりは、した。

ベビコミュの話をするぞ。

完全にハマるとまづい感情を味わわされた一週間でしたね。友人と電話しながら迎えたのですが、私は寝落ちずに 11 日を迎えたのが初めてで、終始怯えていた……。

半狂乱でガチャを回して UR を揃え、幼児を慈しみ、養育金（ポイント）を稼ぎにライブを回し、同時に親愛度もあげて、ラビ読んで寝落ちた。カスミみたいなことしたな、友人に対して……。

瑠璃！瑠璃〜〜！！半分瑠璃のカードだろあれは〜〜！！割と語弊でもなく。ネタバレしていいかな。いいよな。

なんかさあ、マジで家庭環境が、健全すぎて、まずそこに開いた口が塞がらなくなっちゃって。いや、健全家庭であることは知ってたんだけど、あんな……。我々、tsm さんのおかげで機能不全家庭に骨の髄まで慣れきっております故本当に、推し、真っ当なんやな……。陽は生まれるべきところから生まれるんやな、と俯瞰するなどしました。

仲が良すぎる……。年の差は一、二歳程度なのかな。本当にどこをどう切り取って解釈しても抜け目がないほど仲睦ましくて、おれは、Re:member をしらない軸なら、こんなに気持ちめちゃくちゃになることも、きつとなかったのに……。

ていうか散々オタクを刺し倒した Re:member を擦って更に刺してくるこの構図なんなんだ。つくづく天才だよ、となってしまった。幸福家庭を描くことで傷を負わせるの、マジで性格が良くない。味変味変、ってやかましいわ。個人の所感です。こういう捻くれた見方をしないオタクが大半だということも念頭に置いて、あえて全開で残しておくわ。

転職しようかなっていう気概がある。いやもう辞める、辞めるんだけどね。人生、かなり真っ当にやるのがつまらなくなってきたし、日本で生きてる限り食いつぱぐれることもないと思ったら、あんまり怖くもなくなった。つまらなさが一番の敵だし、人は飢餓でも死ぬけど退屈でも死ぬ、体というよりは心が。

いい結果になればいいね。こんだけポジティブならどうにかなるよ。

221212

最悪タイミングで決定した 12 日連続労役で気が狂いそうなので日記書くね。

自分の中でダントツ脆い、儚い、蒸発しがちな感情が怒り。新鮮な怒りを煮続けるのはどうしても疲れる。数年前は怒りは何も生まぬので好ましくない、みたいな綺麗な理由で忌避していた気はするけれど、まあ今も別のその考えが変わったわけではないけれど、もっと怒りに対して素っ気なくなった気がする。

感じていることも認識したくない、みたいな……。こういうのはただの抑圧なのであまり良くないことではあるんだけど……。

実際連勤なるっばいな〜ってなったときもまあこんな最悪スケそうそうないじゃん最高！ぐらいのテンションだったしエンジョイできそうなレベルでさえあった。ジムで 1 時間くらい走ったら完全に正気に返って鬱になってしまいました……。

違うんだよな、お金が出るならこんなキレてない。休出分無賃だからね〜。意地でもボーナス分の元を取ろうとするなよ……。 (呆)。

それもマンゴーアイス (美味しかった〜) 食べてジカプテキストやけくそで打ってたらちょっとマシになった、さっきよりは。だからまあ、やっぱり脆いな〜。と思う。

なんというか、記録にせよ小説にせよ言語レベルが本当に落ちているな。これどうやって上げるんだったっけね。

怒りの根源にあるのは希望だって何かの本で読んだ。そんなかわいい原理があるかよ。おかげでかなり人の怒りにも寛容になれるようになった。私は基本的に人間が好きだし人間の感情が好きだよ。

体力値が低すぎて生身で人生をやりきれないな……。

モモユキの話思いっきりしたいわ〜。っていう気分なんだけど完全にお気持ちが路頭に迷っている時にする話なんてろくでもないんだよなあ。

コロナの影響で引きこもりの才能が開花してしまい、もう当分人に会うのはやめることにしている。元々入っていた予定をさっさとかなして孤独をやるぞ。デトロイトプレイ中なんですよ、メンタルに効きすぎて平日触ろうと思えない。一単位 5 時間ぐらい欲しいもんね。ああ……週休二日が恋しいなあ。

22 日は金属バット見に行けるので、それが今の所最高級の希望。

明日健康診断なの笑っちゃうな。採血が生理的に無理なので顔をしかめている。自分の身体に血液が流れてる想像するのもきついレベルで血が無理。これ以上の異種ムーブメントはやめてほしい。

なんとなくよぎる書きたいシーンがあるのに追いかける暇もないのが最悪だっつってんだよね。どんどん遠ざかっていくのが許せない。

眠いから寝る。疲れたなって思ったけど走ったからだった。絶対辞めるけど辞めるための勉強ができない。いや、やる。

ポジティブな話をしたいな。「あなたは偽善者なんですか?」「そうだよ、利用しちゃえばいいよ!」のやり取りが一生好きです。大好きです。サドビもちゃんと鑑賞会したいな〜。



221217

#### <イヤホン>

イヤホンがないと外を歩けなくなった。でも忘れ物もがつつりしてしまう性質も併せ持っているので、外出時に絶対必要なイヤホンを忘れたことも社会に出てから過去 2 度ある。財布を忘れた回数よりは少ないけれど。

バスに無防備な状態で乗車するのがどうしても無理で、忘れたら結局いつもイヤホンを買う羽目になる。

Apple 純正のイヤホンをうっかりチョイスしてしまったことがある。遮音性の無さに愕然とした。車内アナウンスと聴いている音が混ざりまくる今世紀一最悪な乗車時間を作ってしまったのを覚えている。あるよりないほうがマシってこともある。

無音、どうして駄目なんだろう。音の取捨選択が下手くそ。電話とかも片耳塞がないと取れないしね。

#### <反出生主義>

主義の是非はともかく、独身女性が手を出してはいけない思想トップテンには入りそうだなってというのが齧った感想。正直拗ねてる人間がナイフを振り回しているような理論、みたいな先入観をかなり抱いていたけれど、割と理攻めで好感度が高かった。理論武装だいすき。隙のなさが隙になってて、とってもかわいい。書籍をとりあえず取り寄せてるので週末の労働を乗り切ったらさくさくっと読んでもっと深めてみようと思う。

偉人の思想、おもしろくて助かってる。読解も容易でないような概念が存在していて、とにかくこの世にまだ暇を潰せそうな材料があることに安心している。人生において退屈がいちばんの毒なので。

#### <アンドロイド>

4、5 年前に発売されたゲームを今夢中になってプレイしている。労働時間の関係でゲーム漬けにはなれない。本当にコロナ罹患中に取り寄せるべきだった……が、後の祭り。年末年始は張り切っていくぞ。

1 周終わってしまったけれど、地獄のようなチャプター量プラスムービースキップが出来ない仕様なのでウキウキしている。まだ半年は遊べそう。

今年の目標、アンドロイドと人間に関する見解を深める だったような気がする……。ちなみにパラロイが始点だよ。おすすめコンテンツあったら教えてほしいな〜。じゃんじゃん吸いたい。

勤務地とホテルが近すぎて iPhone の仕事モードがオフにならない。そういうことがなんとなくつらい。いつでもいつまでも眠い。

文鳥カフェに行った。鳥を愛して生きてきたんだな、といった雰囲気のおじさんがひとりで店を回していた。文鳥はいつまでも眺めていられるくらいのめまぐるしいかわいさを振りまいていた。すごい。指一本も触れてない人間すらもここまで惹き付けることができるとは。すごい。鳥、飼いたいな……ぐらいだったけれど、一緒に生活すると愛情でめちゃくちゃになるのが容易に想像できた。

異常に飯が美味かった。豚肉を焼いたものを卵入りのゆずポン酢につけて食べるメニューだったんだけど、本当……私の舌にハマってたんか知らんけどとにかく異常に美味しい。苦手意識のあった白身魚のフライもふわっふわで世界が変わったし、心底苦手な豆腐も抵抗なく食べることが出来た。

おじさんの絡みにかなり癖があり、拒否感を抱くひともいるかもな……という気持ちがあったけれど、料理が異常に上手いおじさんは面白すぎるのでまったく問題はない。普通にもう 1 回行きたい。特段理由がないと適当に選んだ店をリピートすることはないからこういう決意は珍しい。とにかく異常に飯が美味かった……。

ホテルのお風呂にゆっくりつかった。缶詰とかで原稿ができた試しがない。気合いを入れれば入れるほど空回りする。やらなきゃいけない理由に肌で納得出来ていないから、な気がする。自由を損なうとすぐ暴発するのでもう諦めて効率的に上手いこといく道を探るしかないな。

疲労した人間同士が会話すると意味が繋がらなくて面白かった。脳の回路が落ちまくる。でもこれは私の側だけが感じたことかもしれない。わからないな。ブラック勤務やめろよもう……。になってしまうな。何回言っても。

採血が苦手なんだけど、過去数回こなした採血の中で 1 回だけ最高の採血があった。はっきり覚えている。

予期せぬ採血だったので（は？ またすぐ人の血を取ろうとしやがって……）って行き場のない怒りのモードになっていた。もうこの時点で予告ありの採血よりも相当マイナス地点からのスタートだったにも関わらず、看護婦さんに今日食べた昼ごはんをにこやかに尋ねられてにこにこ答えているうちに終わっていた。終わって……いた。

いつもあんまり上手じゃないひとにあたりがちなかわからないけれど、あの腕縛る管を巻き直すやつとか、血管擦って浮かび上がらせるやつとか、「探しにくいって言われませんか？（苦笑）」とか、「ちょ〜っと待ってくださいね……………（……………）」みたいな時間がなかった。まったく痛みもなかった。注射ぐらいの感覚で血を抜いてくれたあの看護婦さんには未だに感謝している。苦痛を伴うすべての採血を忌み嫌っているのに、相対的に苦痛を伴わない採血におそろしく感動してしまう。

一度最高の採血を味わってしまったことも不幸のうちなのかもしれないな。いつもあれと比べてしまう。これからもあの一回とずっと比べながら、何度も管を巻き直されたり、「採血嫌いですか？」っていう引き伸ばしトークにこやかに応じたりするんだろう。心底嫌いです、採血は。

嫌いなものの話をするのが好きなのかもしれない。良くも悪くもこの世の大体を受け入れて生きてきたので、なんとなく流せない嫌いの輪郭が面白い、感じがする。単に疲れているのもある。

今日の夜は M-1 だよな。テレビ文化から隔絶されてるけどあれの視聴だけは欠かしたくない。とてもたのしみです。

朝方に帰宅した。窓が全開で極寒部屋と化しており、おもろ……と思いつつ窓を閉めて毛布を被って意地で寝た。

来年の目標は 自分に正直 にしようかなと思いつつ、これ以上正直になると本当に人のふりをやめちまうことになるので迷っている。背中を押してくれる人外の友人が欲しい。友人に人外性を求めないでほしい。

Twitter で自己開示しているとリアルでの自己開示を忘れる。冬眠とかばかなことを言ってないでちゃんとお外で遊んだほうがいい気もする。こうしてひとはインターネットになっていくんだな……と思っている。

「盲目でいることは危険でいて、優しい。信じた世界に住み続けることができるからだ。」書き置きが残っていたのでデジタルに移した。tsm 先生のテキストだった気がするけど違ったらごめんなさい。なんだろう……。違う気がしてきたな……。どこで読んだんだ……。突然ぶっ込まれた休出のせいで聖地巡礼がキャンセルになってしまった。鎌倉の地を踏める日は果たしてくるのでしょうか。

本当は怖いと思っているのかもしれない。胸焼けするくらいのアの時間の痕跡を、五感で味わってしまうのはあまりにも重たくないか。画面越しの事実鑑賞ぐらいで距離感としては十分満たされてしまう。聖地巡礼、というメジャーな文化に乗かって迷いなく行けるひとが本当はすこし眩しい。わたしにはちょっと刺激過多すぎる。精神的刺激を気にする人間にもっとも不適なコンテンツ、アイドルリッシュセブン……。

加湿器を使ったら机がびしょ濡れになってびっくりしてしまった。安いやつだからだろうか。みんな使ってるからそのあたりはどうかこうにか上手いこと技術的にカバーしてくれてるんだと、なんとなく思い込んでいた。と思って調べたらやっぱり安価だったかららしい。機械から霧が吹きでている様を眺めるのはなんとなくたのしい。動きのあるものを眺めるのが好き。みんなそうかな。ダイソーで売っていた、色つきのスライムみたいなものが歯車を回しながらつぶつぶになって落ちてくる置物をずっと眺めてたことを思い出した。

乾燥を気にしたことがなかったから特に購入も考えてなかったけど、グレードアップを考えたでもいいかもしれない。霧を見ながら考え事ができるのはいい。

じきに年が暮れる。少々余裕に欠けるけれど、相変わらず真冬の空気も終わりの気配もだいすきなのではしゃいでいる。

淋しさが錯覚じゃなくなる前に行動に移した方がいいとは思いつつも、どこまでの拗らせならセーフなのかなんてわかるわけもなく、路頭に迷っている。1 周目の人生は難しい。思考で全部が溶けていく気がする。

割としょっちゅう片付けているはずなのに、毎回大量のごみが出る。キャリーひとつで生きていけるようになりたい。

セブンの味玉おにぎりを初めて買って食べた。毎日食べたくなる旨さをしていた。

朝昼の飯は基本的に栄養素としてしか見てないけど、タンパク質もどさくさで採れるから食欲も栄養素欲も五分五分で満たせて良い。購買理由として路上に落下して死んだカロリーメイト1本弱もそう思えばかなり天寿をまっとうしてくれたんだな、なんかありがとう。味玉は今日も食べたい。と思いながら朝、ピザまんを食べました。

一昨日のサドビの視聴時、ももさんの顔がいい、マジで顔がいいってはやし立ててたんですが、色んな描写を包括した表現に甘えすぎてて、こうして語彙を失っていくんだな……という図だった。でもたしかに表現を束ねることで表せることもある。臨場感とか。(完全に思っていない言い方をしてる)

まあ、ミクロばかりじゃ見失うから……。本質とか……。(思っていないね)

だから瞬発的なそういう感情を解体する場所がちゃんと欲しい。ここをそういう場所に来たら万事解決だよね～。日記なんていつまで続けるつもりなんだろう。どうせまた唐突にやめて自分に失望する羽目になるんだよ……。これは予言なので。

友人と飲んだ。短時間しか取れなかったけれどちゃんと充実していた。アルコールを介しておきながら高校生に戻ったような錯覚を感じたけど、酒を入れたからかもなと今は思う。肉を頼む私の前でメガジョッキの飲み物を頼んでいて頼もしかった。周りに飲めない人間が多いので自分より飲む人間を眺めるのが新鮮。常時アル中ってしょぼいよな……。春原くんの影響で理性萌えがかなりある。中毒や依存をコントロールしてたい。そういう人間がいちばんかわいいと思っている。

自分の世界と人目のある世界だと後者の方が圧倒的大だから、侵食されるのが嫌でずっと引きこもっていた状態だった気がする。20年間。他人から見た軸でどう映ってたかは知らんけど。

世界における自己の範囲が爆発的に広がりつつあって、これが自分にとってネガティブなことなのかポジティブなことなのかはくっきり判別できない。こればかりは間違った方向に進み倒したら痛い目を見るという世界のシステムを信じるしかない。そんなおそろしい懸け方がありますか。

前半、寝起き即で打ったんだけど寝起き即のテキストすぎて意味がわからなかった。

日常の業務が遂行できずになりつつある。14連勤中のストレスチェックに公平な結果なんて期待できなさすぎるだろ、いいの？

昨日片付けたはずの部屋がタイムスリップ起こしてて、けど結局なんか、落ち着いてる。ずっと散らかってる部屋が好き。散らかった部屋を片付ける工程が好き。

完全に終わりのご起床だったので労働を諦めた。社会に出てじきに二年になるらしい。いまだにやっていける気がしていない。

昨日は 7 時間寝たにもかかわらず交感神経が完全にストライキを起こしており、さすが私生まれ私育ちの交感神経やな……と感心するなどしていた。スイッチが切れたまま仕事をしていたのでなんの記憶もない。迷惑甚だしい話だ。

朝ごはんとはんはいつも弁当を作ってメニューを統一していたけれど、ウルトラ出勤ウィークに乗じて珍しく毎日違うものを食べていた。コンビニで梅のおにぎりとか初めて食べたかもしれない。

日記始めてまだ五日とかだけど毎日の中に固定された選択がごろごろ横たわっていることに気付く。心の壊死、なるべく食い止めていきたい所存。

ただの欲だったはずの食が娯楽に成り上がる生活の中で、「おいしいごはんが食べられますように」を思い出した。あれはかなりリアルに労働している気分になれてげんなりしたけれど、フィクションの労働でげんなりさせる筆力って、すごい……。丁寧な暮らしにキレてる描写が好きでした。

久しぶりにひとが怒鳴っているのを耳にした。温厚な職場なので不用な怒りは非難される節がある。かなりありがたい。相手が誰であろうと出す必要のない怒りを武器として扱う人間のことを遠慮なく軽蔑してしまうので……。

許せる怒りってどんなのかな、と考えてみたら、相手がどんな対象でその場がどんな状況だったとしても表出していたであろう怒り、という定義がぼんやり浮かんた。無条件の怒りかあ。本当に許せるだろうか。ちょっと考えてみたい。

それを使って場を動かしてやろう、という意図が見透く感情のことをあまり快く思っていないのかもしれない。感情を武器にしようとするのはナンセンス……と思っているのかな。感情はただそこにあるものであってほしい、っていう歪んだ理想……。私も絶対利用してるはずなのにね。

でも、そもそも利己的であるなら潔く利己的であれよ、と思う。うーん。自覚のない利己思想が嫌い。本人は利他と思って施している利己。そんなのは世間にごまんと転がっていますけどね……。その上そこを突き詰めたら利他なんてないことになってしまう。でも、究極そうなんじゃないの？ 違うのかな。

とりあえず、怒りについては無理解すぎてもうちょっと勉強してみたいかも。自分の知覚で全く理解できないものって珍しくてハマりがち。多分執着もそういう原理でハマってるんだろうな。

ファミマで入手した角煮のバックをチンしていたらそこそこ物騒な破裂音がした。チン OK なバックを加熱している時のあのただならぬ音、スリリングでいいよね……。合法のスリルが大好き。

飲酒すると少量で程よく回る日が続いており、コスパ良くてラッキー！ってるんるんしてたけど単に疲労のせいだったのかもしれない。

三十分くらい布団でゆっくりしてたらあっという間に心を取り戻すことができちゃって呆れてしまった。日々の余白、少なすぎる……。ちょっとした空白で効率はぐんと上がるのに規律強要させてくる社会、頭が悪すぎないか。もしもう少し生きて考え方が変わっているようなら今教えに来てほしい。未来の自分に。

記録に夢を抱いている。

人生の目的が「すべてに触れること」なので、せっかく触れたものを忘れてしまっちは元も子もないっていうのもある。けれど、それはあくまで人生をかなり短軸で捉えている視点での話な気がする。してきた。

桜春樹の「人生の目的は失うことでもある」という言葉を初めて読んだ時、ひどく驚いた。その概念に関しては今も三割くらいしか理解できていないけれど、わからないからわかるまでの距離が大きいものが自分の中にあるのは嬉しいことだ。理解できる瞬間を夢見ることができるから。

忘れるべきことを忘れないように記録するのは不健康だろうか。それに、限定的な空間とはいえ思考の斜度を外に晒してしまうのはよくないかもしれない。

でも、今更その程度の抵抗で欲求を自粛するくらいきちんと生きていくことはできない。

キーボードで打つテキストは理性しかなくて好きじゃない。でも打ち慣れたらもっと生々しくなれるのかもしれない。自分のテキストがたくさん生まれるのは嬉しいから、効率を考えるとこっちを使っていたい気持ちはある。大人しく場数を踏もうと思う。

特に書くようなことはない。色んなことを考えた。ぱっとしないことばかり。今日は寒い。木も布も風に揺れていた。冬の朝は青から白のグラデーションで、これからちょっとずつ夜が短くなってゆく。

順調に感受性が薄まっている。億劫なふりをして怯えていたコンテンツにもゆっくり手を出せるようになっていく。失いたくないのに失っていく、その悲しみさえ手放して忘れていく。損なうことを想像しただけであんなに嫌だったのに、今はもうあんまりそんなことは考えない。名残のように続けている行為も、いつかやめている日がきているかもしれない。喪失自体はあくまで無味無臭で、でも、そういうものなのかもしれない。

家を出た瞬間に雪の匂いがして心が跳ねた。刺々しくて純粹で、なんの目的も孕んでいない、さらさらの匂い。

路面も凍っている。電線でたたずんでいる小鳥を見る度に来世は鳥になりたいなって思う。空を飛んでみたいから。

そういうことじゃないから。の、「そういうこと」の部分がずっとわからない。頭では理解出来ても。

給与が振り込まれてるのをみて、お金なんかいらなくて、綺麗事だと感じながらそう思ってしまった。お金が必要になる理由ごと要らない。間違っって人間に生まれてきただけだから。

自分のことはどうでもよかったけど、好きな友人が社会に取られてちょっとさみしいのかも、とわかると一気に笑ってしまいたくなった。帰りに甘いものを食べながら義務を終わらせて、あとはとっとと暮れの準備にはいるぞ。2022 年、なんとなく好きになれなかった実感が残るけど、でも大好きだよ、って言いたくなるような 1 年だった。



ゆきさんお誕生日おめでとう。今年はちゃんとおいわいできてうれしい。  
連勤が終わった。頭が空っぽすぎて痛い。ドーナツは結局ふたつ食べて寝た。昨晚の記憶が  
いつもない。朝起きて夜中の自分のツイートを見返すといつもびっくりする。

「君の心臓の音に慣れてきてからの話」 秀悦な表現すぎて唸っちゃうな……。  
セブンの味玉おにぎり、結局惚れてしまってるので毎朝いそいそとセブンに足を運ぶんだけど、  
未だふたつめを食せずにいる。日に限らずおにぎりの棚が毎朝がら。ちょっと残  
っててもその中に味玉おにぎりはいない。私は今週、毎朝失恋してから出勤していた。  
仕事でもそれ以外の時間でも、ふと子どもが目に留まるタイミングが多い。無垢の変容に恐  
怖をおぼえるので、多分子どもを産むことはないと思っている。結婚は最近してみたく  
なっている。同じ価値観の人間としないと事故が起きるぞ、という戒めを忘れずに相手探し  
をしていこうと思う。嘘。全然そんな積極的ではない。

クリスマス、来年からは絶対にひとりで過ごすとした。世間の共通認識、全部逃げたくな  
る。仲のいい友人とかの誘いだったら応じるけど、それ以外は海とか森とか眺めて過ごした  
い。ケーキは美味しいから食べたい。

早く岩手に行きたい。

去年の暮れから今年の 5 月ぐらいまで真面目につけてた手帳を読み返していた。過去が消  
えてく感覚がいよいよ不快なレベルに達していたけれど、普通に思い出す過程をサボってた  
だけか、と思う。それにしても変化のない毎日に成り果ててるので、もしかしたら衰えたま  
まの方が賢いのかもかもしれない……。

来年の目標は 緻密な記録 にすることにしました。去年は 明るく過ごす だったらしい。割  
と達成出来たのでは？ 日々開き直すちからだけが強化されていったな。

リビングに出ると妹たちが丸まって冬休みの宿題をしていた。クリスマスプレゼントは何を  
頼んだのか訊くと「まだきめてない」と当然のように返されて笑ってしまった。サンタさん  
を信じてる子どもの正解例すぎる。めちゃくちゃかわいいな。

なんかしらのテキストを生成したくてうずうずしているけれど頭が空っぽすぎて何も出てこない。朝。8時過ぎ。もう少し眠ろうと思っていたのに洗濯機を回してしまった。コインランドリーに行こうと思う。

好きなデザインのウィークリーノートがあって、それじゃないと買えないレベルなんですが、わざわざイブの繁華街に出向いて入ったロフトで探し漁ったにも関わらず、完全にそのメーカーの手帳が消滅していた。ありえない。去年までコーナーの一部分をちゃんと占めていたのに。絶望的な気分になりながら店を出た。

無印はあったら入ってしまうけれど何かを買うこと自体は少ない。四コマメモは最高すぎるので愛用している。けどそれだけ。でも、好きな形式のウィークリーメモがちゃんと並んでいて、特許買収でもしたのかな……と思いを馳せてしまった。飲酒帰りで人混みを歩きまわって体はへとへとだったし、手持ち無沙汰で帰るよりはマシだと思って二冊買って帰った。手のひらを返してしっかり愛用しようと思う。

いろいろな義務や予定が半端なまま転がりまくっていて、早く全部終わってくれと泣きそうになりながらここ数日を過ごしている気がしている。あと、Twitterをそろそろやめるべきだと思えてきた。ので、アプリを消した。静か。

「どれだけ惚れられるかっていうのはどれだけ夢を見られるかにかかっているから近付いた瞬間に全部醒めるのを一生繰り返すだけ」

私にとっての恋は本当にこれに尽きる。愚かではあるがもう仕方がない、気がする。ここから心変わりした人間がいたら是非体験談を聞きたい所存。

コインランドリーの乾燥機で回転している洗濯物も永遠に眺めていられる気がする。昼から恋人と酒を飲みながら鍋を食べる。飽き性なので毎日別れたいと思ってしまう。好くばかりで好かれたくない。向いてないという事実が骨身に染みた。変化や成長の意思がはなからこちらにはない。

本当に何も起こらないのか、気になるから続けている。恋人という呼び方が胡散臭すぎて好き。逆に境界線を引いてる感じがして。失う段になって号泣したい。

思想がひねくれてるのは初期装備……。本を買ったので、今までTwitterしてた時間を使って読む。

快晴。日に照らされている時間は、ああ生きてるなあ、ってなんとなく感じる。そういう季節。

吉本ばなの「キッチン」を読んでいる。はやく続きを読みたいので今日は短め。原色の美しさにあっけなく胸を打たれてしまった。こういう気持ちになれることは珍しいので、うれしい。はやく読みたくて、そのことしか考えていない。

いよいよ年の瀬だと思うとお腹がぐっとなる。お腹も空かないしゆっくり眠れない。なにげなく忙しい。日記をしてなかったら気がおかしくなってただろうな、って、なんとなく思う。多分そんなことはないんだけど、それぐらい今は命綱ってこと。

静かな交差点の信号無視を、静かに目撃していた。信号無視に律儀さという採点基準があったら、ベスト5に入るだろうというくらいお行儀のいい信号無視だった。

食べきれないくらい大量のお菓子がある。妹に配ればいいのかと思ったので帰ったら配る。林檎を齧った。おおきな林檎。機械から生まれたわけじゃない食物。果汁がぎゅっと詰まっていた。

受け入れられる音が多い。色んな曲を聴いている。いいことだった。「希望の光なんてなかったっていいじゃないか」。久々に聴いて目を見張ってしまった。他でもないこの場所が、いつでも甘い理想郷なのかもしれない。そんなことがあってたまるか、って思えることごと面白いかもしれない。

好きだったアイドルのライブに行く。そろそろ曲を覚えなといけないなあ、とぼんやり思う。朝の陽射しが柔らかい橙色をしている。

高校生の時に助けてもらったバンドの歌を聴いている。絶対に寝てやるぞと気合を入れていたら見事に眠れなくなってしまった。明日の通勤は睡眠にあてたいので、今書いておく。なにかを信じて、それが結局壊れた経験をもってしてもなお、それだけが唯一の光だった時間をたしかに覚えているから、肌も、目も、心臓も、かつての光に呼応して、たやすくふたび期待を抱く。ああ、過去だ、ってよく思う。今ここにあるのは今じゃなくて、過去だ、って感じる。そうしてすぐにやるせなくなる。そんな日が続いている。瑞々しくなりたい。日記を書きはじめて十日になった。思ったことばかり書いてるせいで見返していても日時の経過を感じることはあんまりできない。それでも毎日自分の考えたことが読めるのは嬉しい。意味のなさがすこしだけ紛れる。

ずっと読み返している。私が書いた字をいちばん読んでもるのは私であってほしいから。鬱屈とした気分の時に字を書くのは新鮮。いつも明るくなりたいときとか、前を向きたい時とか、どちらかというところという上を向き始めた気持ちのときに書くことが多いから。そのはずなのに全然いつもの文も暗いんですけどね。日々のノーマルの明度はこんな感じ。日記書いてたらデトックスできてすっきり生きていけるかなと思ってたけど、そんなに甘くはないらしい。

世界の馬鹿、はやくひとりのこらず全員救えよ、という気持ちになる夜に聴くからこそ助かってしまうような言葉を知っている。それだけなんですけど。

現実を見ながら夢を見ることに、たしかに疲れてはいるんだけど、じゃあどっちを選ぶのと訊ねられたら、もちろんどっちも選ぶ。ここはももさんに会った後の世界線だから。恋人がただのいいひとだという事実が、悪人だったときよりもよっぽどタチが悪いんだなと学んでしまう日が来るなんて……。あと、耳鳴りって止まないと鳴ってるって気付けないね。冬は好きだけど冬の衣服は窮屈。春は好きだけど夏は嫌い。また逆接まみれになっている。麻痺ばっかり進行していく。

夜に書くとうなるからなるべく朝に書こうと思ったよ。手の離し方ばかり詳しくなって、繋ぎ方はわからないまんま。それでも多分、嘘をつくよりはほんのすこしましなんだろう。

「きみよ統計学上のひとにならないで」「夜は天使みたいにふたりをどこかに連れてって」「僕だけを選ぶ神様がどこかにいるとずっと信じてる」何度浴びても褪せないフレーズばかりですごい。真夜中に聴くと格別。

旧 Re:vale に思いを巡らせたりもしてしまう。綺麗なものが好きなひとはおすすめだよ。純粹におすすめだから聴いてみてね。PK shampoo っていうバンド。

最初に言ったバンドはもうひとつのほう。本当に大事で恥ずかしいからあんまり言わない。知りたかったら聞いて。

睡眠チャレンジに戻る。失敗の予感。食欲がないのがいちばんかなしい。冬は美味しいもの

ばかりなのに。でもまあ、色々悪くはない。年も暮れるし、好きなバンドの話をできたから。

こんな状態で日記を書きたくない！パート1

色々思うことも見たものも聞いたものもあって残したかったけど出力媒体（指と脳）がぼろぼろなのでさくさくさくっといきます。

そう！昨日の朝遅刻ギリにもかかわらずセブンに駆け込んだら味玉おにぎりを発見することができ、感無量。なんか味玉おにぎりだけ生き残ってて運命だったな〜。それでちょっと熱が冷めました。私は手に入れるまでの過程しか愛せないのです。

切手を買いにコンビニに入る→買い忘れる を朝に2回やって、諦めた。

インスタのおすすめ投稿が動物まみれで命が助かっている。

脳が死ぬとツイートみたいな一文しか書けなくなるんだなあ。学習。

✧

コンボタ握っておにぎり食べてたら目が冴え冴えとしてしまったので普通に書く。

昨日、地下鉄の乗り換えで構内を歩いているとき、突然思い出してしまった記憶があった。その時は鮮明に、本当にとっても鮮明に引き戻されてしまったけれど、それを書き起こそうとしてる今、きっかけになった引き金さえも思い出せない。生々しさの残骸の中で、まだあんなに強く残ってるんだ、としみじみ感じる。悲しい無力感だった。あの子は忘れてるといいな、と思う。

義務があると行くカフェがある。ここがないと書けなかったテキストやこなせなかった義務がどれだけあったか……。週の休みが1日しかなかった時期はここが唯一の休息場所だった。好きすぎて写真をたびたび色んなところにあげている。宝石みたいなパフェ。完璧なメロンフロート。

当分ご無沙汰だったけど、一昨日久々にお世話になった。なんとなく閉店してしまうんじゃないかって思った。閉店が早い日や臨時休業の張り紙をよく見かけたから。

でも新人教育してたね。まだ続くのかな。なくならないでほしい。

リヴァライのことを思い出す。今年いち大きいできごとだった。未だともに記録できずにいるけれども。円盤もなんだかんだ理由をつけて観るのを先延ばしにしていまいそうだな。終わった、って未だにまだ言いたくないし認めたくない。我が強いから。

終わることも、過ぎ去ることも、消えてしまうことも、知っていながら手を組み祈る姿の尊さは味わい深い。終わらないで。行かないで。消えないで。懇願しかすべがないときのにんげんはあまりに無力で脆くて、とてもかがやいてみえる。もっとも好きな感情を尋ねられたら、祈り、とこたえるかもしれない。

仕事が終わりと、年越しに入る。よく寝てよく酒を飲み、なるべく字を書いたり読んだりしたい。本腰を入れてテキストをしていきたい気持ちがあるけれど、そんなのはいつもだ、っていう気もしてきた。手をつけたい勉強がたくさんある。わけのわからん忙しさもおそらくは当分ましになると思う。思いたいよ〜……。

新曲を聴いて動揺したのでその件には触れない。

ピリカラめっちゃ好きなんだよな……。リヴァライ時、イントロアレンジ効いてたじゃん。あの、あの音源、めちゃくちゃ欲しくて……。聴いただけで夢見心地になれる音だって、2回しか聴いてなくてもはっきり知ってる……。

歌詞も泣けるよね。「ふたつとないものになろうよ、今」……。

仕事を納めたので記憶なし。ばかみたいにいそがしかったです。おわり。

特に書くことがない。年末ムーブに乗り切れていない。

朝と晩に乗ってるバスが暖房をつけてくれなくて、それが地味に鼻につく。今日乗ったバスは暖房がついてて、でも今日あんま寒くないよ。どういう経営事情なんだろう。朝晩の方が絶対寒いじゃんね。

にしてもお酒ってめちゃくちゃ美味しいな。当分は梅酒ブームに飲まれることになりそう。好きな売り場があるんですけど、高校生ぐらいの時から成人したら絶対ここで買うぞって決めてたのが今叶ってて、ほんとうにうれしい。たしかめちゃくちゃりばーれの概念日本酒を見つけて、未成年で買えなかったのがかなり悔しかったんよ。名前メモしとけばよかったな。もう覚えてない。

生きてきた道が地続きであることを、成人してからはなんとなくよく感じる。20歳をひとつの到達地としてるひとはたぶん多いだろうし、私もそのひとり。だから、ああ叶ったな、っていう感触を味わうことが最近多い。あのときが、いま。上手くは言えないけど変な感じがする。過去の自分が他人すぎて。

友人に会いに行く。服とかって、買わなきゃないまんまなんだ、って新鮮に学んだ。単純に休日がなかったからなくてもやっていけてただけだったんだな。

休日にはいるので気の抜けた文章になってしまった。遠く遠くに行きたい気分。手に入れることが目的じゃない恋しかしたことないな、って今朝はっきりと気付いた。

眠い。低刺激エブリデイだったせいか、ちょっと人に会っただけでぐったりしてしまった。あと酒量の急激右肩上がりも原因。まあ休みなものでよしでしょう。もう年が暮れますね。深夜三時台にクロスオーバーローテーションを歌唱しながらもうブラホワこれでええやん！！と泣き喚いていた。のを、今思い出した。その勝敗で誰が幸せになるのでしょうか。でもこんなに勝敗煽っという大団円エンド持ってこられてもなんか不完全燃焼だよな、と口走ってしまった。24 時間営業の厄介なオタク。

ネカフェで睡眠を貪ったのち、最寄りの温泉に行ってきた。入稿のご褒美なのでそれまでは我慢しようと思っていたけれど事情が事情なので仕方がない。眠くてたまらなかったのとうっかり溺死しそうで早々に出てしまった。早く入稿して温泉満喫デイを確保するぞ～。壺湯から見上げた空は雲一つない快晴だった。眩しい。真冬の温泉はやっぱり王道の良さがある。家で寝こけていたら一日が終わりかけていてなんとなく切ない。ブラホワに怯えまくっているコウのシャニ配信をひたすら観ている。多分妹と視聴できるはずなので孤独死は免れられるはずだ。血縁、ありがたい……。

結構グレーゾーンな恋愛談を友人から聞いた際、やめておいた方がいいよって、どうしてもその友人の立場を考えて安易な制止を持ちかけてしまいそうになる感情はあるなあ。とは思っていた。結局何も言えずにいたけれど。でも昨日、そんな助言なんてなんの意味も友人にはもたらさないだろうとはっきりわかった、かも。

そんなことは本人が 100 万回痛感している。わからないわけがない、こんな渦の真ん中にいて。やめようとして断ち切れない地点を繰り返している人間に赤の他人がそんな踏み込み方をするのは暴力と同義だろう。私がそんなことを言われたらカッとなって刺してしまう。そしておそらく、そんな鋭利な言葉を投げた方が悪いのだ。当の本人からしたら、いつまでも。本当に書きたいことを避けて書いたせいで薄い。記録する気概はあるけれど体力がないかもしれない。まだ死にそんな気分は引きずっている。気を抜いたら涙が滲んでいる。寝不足だからなのかは見分けがつかない。世間の人間はこんな持病と生活を両立させているのかと想像すると気が遠くなる。もしすべての状況が許せば、私なら三日寝込んでる。



いそがしいので省エネ。

そうなるだろうなとは思っていたけれど、通勤がなくなると一瞬で朝書く習慣が崩れる。掃除にまったく手がつけられなかったけれど、自由に使える時間はあとふつかほどあるのであまり気にしていない。

銀行に行ってお金を下ろして、コンタクトの洗浄液と化粧下地とブラホワ用のノンアル飲料を買った。心を落ち着けたくて事務的な行動に逃げた。日が出てるうちはまったく寒くないんだなあ。

でも、この季節の夕日は1秒ごとに沈む。すりガラスに透けた光が綺麗だった。風がちょっとずつ冷たくなっていく。

美化と脚色で生き延びている。芽は芽のまま放置してたら育つんだな。ちゃんと、勝手に。インターネットにも現実にもない答え。探すべきかどうか曖昧。

弱めの桃のお酒で飲み納めしてる。今年が終わるなんて嘘だよね。あけましておめでとう、とか、今年もよろしくお願いします、とか、まだ全然言いたくない。

シャニマスをはじめた。ずっと勧められていたので、満を持した沼落ち。こうしてオタクは延命措置を受けに行く……。まだ他コンテンツにも読みたいストがいっぱいあるので、そこそこの忙しさが当分は続く、おそらく。

なつの歌を聴いてた。実感がない。全部忘れて置いてきた季節って感じがする。